

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山西支援学校	実践者名	角 俊宏
実践場面 (教科、領域、行事等)	数学		
単元・題材名	「表やグラフにしてみよう」		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数を数えて、表やグラフを作成することができる。 ・ 表やグラフから数の大小関係を比較することができる。 		
対象の児童 生徒の実態	中学部 1、2年生男子 6名		
活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する			
<p>【使用アプリ】 小学2年生算数 小2算数 とどさんすう</p> <p>【概要】 はじめに、数を数えて表に記入したり、グラフにシールにはったりすることで、数の大小関係を比較することができることを説明する。その後、iPadのアプリを使って、個別学習でさらに理解を定着できるようにする。</p> <p>(1) 学習プリントによる一斉学習① 学習プリントにより、同一の課題に取り組む。その中で、ものの数を数えて表に記入すること、また、シールを貼ることでグラフに表すことを学ぶ。</p> <p>(2) 学習プリントによる一斉学習② 表やグラフをもとに、なにが一番多いか、少ないかの比較をすることができるようにする。</p> <p>(3) iPadのアプリによる個別学習 本日使用するアプリの説明をし、それぞれで学習を進めていく。教師が学習状況を確認し、学習が進んでいない生徒については、アドバイスを与えるようにする。</p> <p>(4) 本日のまとめ どのような学習をしたのか、何が分かったかなど生徒が発言することにより確認する。</p>			
活用のポイント・改善策等			
<p>【活用のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容に即したアプリを取り入れることで、学習内容の定着を図ることができる。また、生徒のペースで学習内容の復習をすることができる。違うアプリをすることで、生徒の関心が深まり、学習意欲に繋げることができた。 			

